

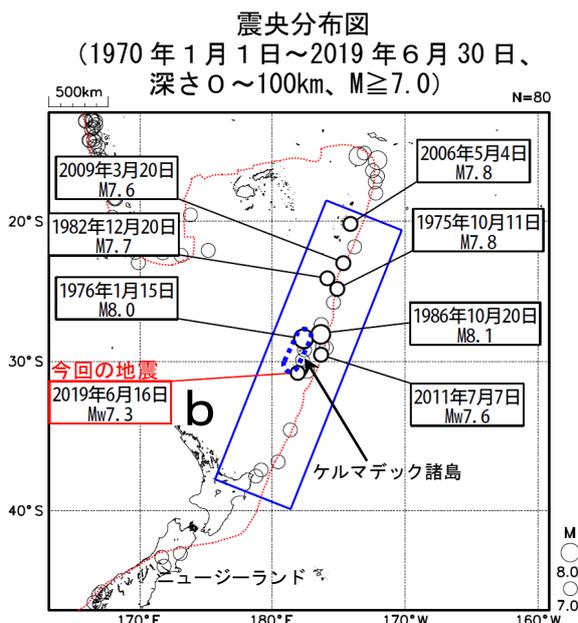
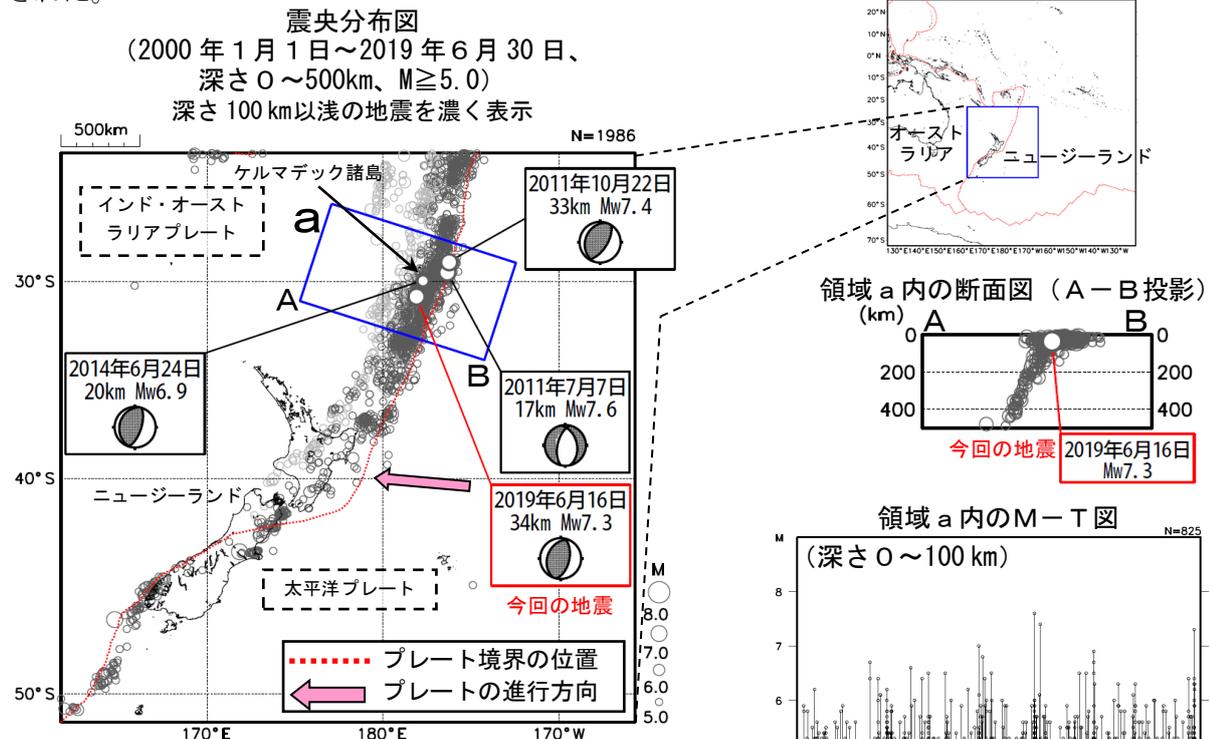
6月16日 ケルマデック諸島の地震

2019年6月16日07時55分（日本時間、以下同じ）に、ケルマデック諸島の深さ34kmでMw7.3の地震が発生した。この地震は、発震機構（気象庁によるCMT解）が、西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、沈み込む太平洋プレートとインド・オーストラリアプレートの境界付近で発生した。

気象庁は、この地震により、同日08時20分に遠地地震に関する情報（日本国内向け、「この地震による日本への津波の影響はありません。」）を発表した。

この地震により、ケルマデック諸島のラウル島で14cmなどの津波を観測した。

1970年以降の地震活動を見ると、領域b内のケルマデック諸島周辺では、M7.0以上の地震がしばしば発生している。このうち、今回の地震の震央付近では1986年10月20日にM8.1の地震が発生した。また、2011年7月7日にMw7.6の地震が発生し、ケルマデック諸島のラウル島で1.2mの津波が観測された。



※本資料中、今回の地震、2011年7月7日の地震、2011年10月22日、2014年6月24日の地震の発震機構とMwは気象庁による。その他の震源要素は、米国地質調査所（USGS）による。海外の津波観測施設の観測値は米国海洋大気庁（NOAA）による（6月30日現在）。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）*より引用。

*参考文献

Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.